



初開催!! 夏秋トマト特集オンラインセミナー
トマトサミット
2024 12.13 トマト品種の今と
 Fri 未来を解説
 THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
 日本農業新聞

登壇者決定!! タキイ種苗、サカタのタネ、 ヴィルモランみかど、福井シード、農研機構が参加

日本農業新聞（本社：東京都台東区、代表取締役社長：田宮和史郎）は12月13日に初めて開くオンラインセミナー「トマトサミット2024」に登壇する種苗メーカー4社を決定しました。登壇するのはタキイ種苗、サカタのタネ、ヴィルモランみかど、福井シード。セミナーでは、各社が持つ品種の特性や育種の方向性などを紹介します。

野菜の中で産出額が最も多いトマト。セミナーではトマトの専門家である農研機構野菜花き研究部門 野菜花き品種育成研究領域の松永啓領域長を進行役に、日本を代表する種苗メーカーが食卓に欠かせないトマトの品種の今と未来について語り合います。

日本農業新聞ではこれまで、6月と12月の年2回、トマト生産者に向けて栽培から流通までの最新情報を網羅した「トマト特集」を発行してきました。今回、品目別特集の新たな読者サービスとして、オンラインセミナーを開催します。

トマトの一押し品種や栽培のポイント、各社の強みなど、トマト生産に役立つ情報をお届けします。ぜひご参加ください。

【日時】 2024年12月13日（金）13～15時

【対象】 農家、JA役職員など

【開催形式】 オンライン配信（Zoomウェビナー）＋後日オンデマンドでも配信

【参加費】 無料 ※オンライン・オンデマンドともに事前申込が必要です

【申込方法】 下記ウェブサイトもしくは右記QRから

<https://questant.jp/q/57R6R912> （12月10日締切）

【内容】

- ・夏秋トマト品種と栽培のポイントを解説
- ・各社のトマト担当者が一押し品種を紹介 ・各社のトマト担当者が対談
 （猛暑や、黄化葉巻病などの病害虫に強い品種と栽培のポイント、今後の開発の展望など）

お問い合わせ先： 株式会社日本農業新聞広報局広告部
 〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3
 TEL：03(6281)5810 E-mail：koukoku@agrinews.co.jp
 担当：三浦、鹿住

